

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年5月25日（水）

2 確認箇所

1号機原子炉建屋大型カバー設置工事構外ヤード（西門前ヤード）

3 確認項目

1号機原子炉建屋大型カバー設置工事の進捗状況

4 確認結果の概要

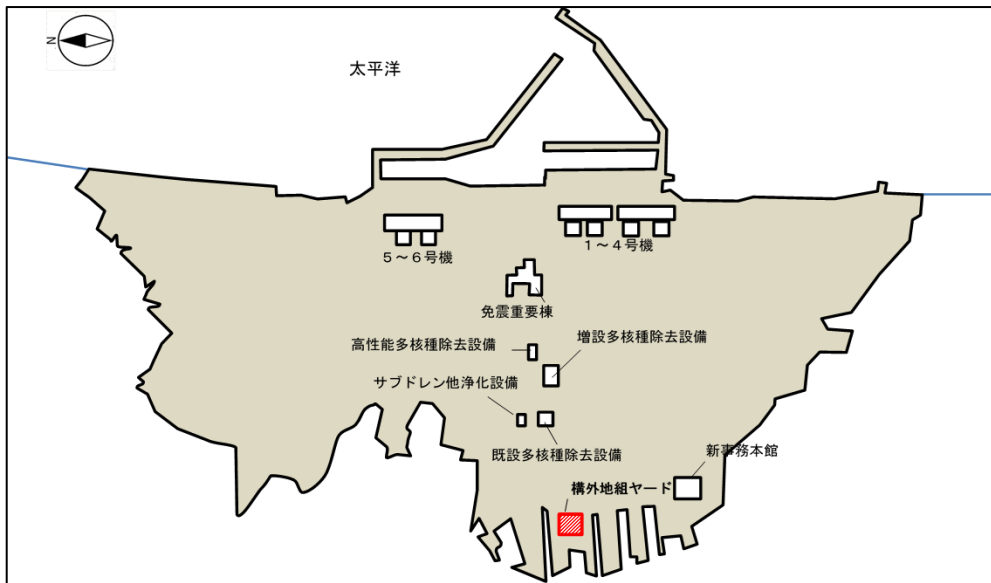
1号機の燃料取出しに向けて、瓦礫撤去時のダスト飛散抑制や雨水流入防止などを目的に、1号機原子炉建屋を覆う大型カバー※を設置する工事が開始されており、構外のヤード（西門前ヤード）では大型カバーの鉄骨構造物等（仮設構台、下部架構、上部架構、可動屋根等）の地組作業が、1号機原子炉建屋においては、構外ヤードで地組された鉄骨構造物を原子炉建屋に支持するアンカーやベースプレートを設置するためのアンカー削孔作業が進められている。

今回は、構外ヤードにおける鉄骨構造物等の地組作業の進捗状況を確認するとともにアンカー削孔作業の状況等を聴取した。

（図1）（前回確認日：令和3年7月1日）

- ・仮設構台の地組作業は完了しており、搬出できる状況になっていた。
（写真1）
- ・下部架構は鉄骨の組立作業は完了しており、配管の据え付け作業等が行われていた。（写真2）
- ・上部架構は地組が行われているところであった。（写真3）
- ・東京電力によると、1号機原子炉建屋のアンカー削孔作業は、4月13日から開始し、アンカー削孔装置による遠隔作業でダストを吸引しながら行っているとのことであった。

※1号機原子炉建屋大型カバー：1号機原子炉建屋を覆う大型カバーで、下部架構、上部架構、ボックスリング及び可動屋根で構成される構造物であり、下部架構の位置で原子炉建屋にアンカー及びベースプレートを介して支持する構造となっている。大型カバー設置作業のために原子炉建屋周囲の地上部に仮設構台が設置されるが、仮設構台は大型カバー設置工事終了後も残置される。1号機の燃料取出しは、大型カバーを先行設置し（令和5年度頃設置完了予定）、瓦礫撤去を行いオペレーティングフロアの除染や遮へいを実施後、燃料取扱設備を設置した上で、令和9年度～10年度に、使用済燃料燃料プールからの燃料取出しを開始する計画になっている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
仮設構台の地組状況①
(ヤード北側を南東側から撮影)



(写真1-2)
仮設構台の地組状況②
(ヤード北側を南東側から撮影)



(写真 2 - 1)
 下部架構の地組状況①
 (ヤード南側を北東側から撮影)



(写真 2 - 2)
 下部架構の地組状況②
 (下部架構内部を南東側から撮影)



(写真 3 - 1)
 上部架構の地組状況①
 (ヤード中央部を南東側から撮影)



(写真 3 - 2)
 上部架構の地組状況②
 (ヤード中央部を西側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
 本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。